

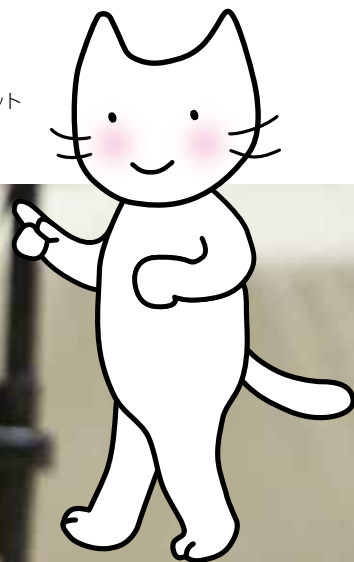
千代田区男女共同参画センター情報誌

MIW通信 50

MIW（ミュウ）は、千代田区男女共同参画センターの愛称です。公募で区民から寄せられました。
MIはman（男性）、WIはwoman（女性）、Iはintercommunication（情報や意見交換）の頭文字です。

2022

MIW マスコット
キャラクター
みゅうじろう



◇スポーツで輝くアスリートにきく…p2

荒木絵里香さん

女性アスリートとして〈私〉を生きる

◇特集

With コロナへ

不安を笑顔に変えて…p4

荒木絵里香さん
（女子バレーボール元日本代表選手、トヨタ車体クインシーズ所属。
2021年に引退後、現在は同社の
チームコーディネーター）

女性アスリートとして〈私〉を生きる

あらきえりか
荒木絵里香さん（女子バレーボール元日本代表選手）

コロナ禍で行われた東京2020大会について

1年の開催延期、無観客での試合と、東京2020大会は初めて尽くしの経験でした。不安もあったけど、頑張れるだけ頑張ろうとやってきました。開催準備や選手村の感染対策など、様々な人たちのサポートがあったかったです。

個人的には、キャプテンとして若い選手が思い切り力を発揮できる環境を作れず力不足だったと思っています。今後は、もっと個人が強くなることでチームが強くなっていきたいと思っています。

東京2020大会後の引退についての思いは？

18年間ずっと「バレーボールがうまくなりたい」との一心でやってきました。途中、出産



プレー中の荒木絵里香さん。北京・ロンドン・リオデジャネイロ・東京と4回のオリンピックの女子バレーボール日本代表選手。現役中に出産した娘は8歳になる。東京2020大会後、引退。



千代田区役所 1 階に飾られた東京 2020 大会の記念品—荒木選手のサイン入りバレーボールの前で。

荒木絵里香さん

1984 年、元ラグビー選手の父と中学校の体育教師の母のもと、岡山県に生まれる。小学校 5 年でバレーボールを始め、2003 年に東レアローズに入団。2008 年にイタリアのベルガモへ期限付き移籍。2016 年からトヨタ車体クインシーズでプレー。19 歳で日本代表になり、主将として銅メダルを獲得したロンドン五輪を含め 4 回の五輪を経験。結婚、出産を経て選手を継続。2021 年 10 月に引退。現在、トヨタ車体クインシーズのチームコーディネーターとしてチーム強化に関わる。家族は夫と 8 歳の娘一人。



したり年齢が上がってくる中で、衰えを感じる部分もありましたが、逆に、選手としての経験値や判断力のトータルなバランスが上がってきていたと思います。そのような中で迎えた東京 2020 大会は、選手生活の集大成でした。大会を終えて、自分の限界を認められたというか、味わい尽くせたとの思いがあつて、引退を決めました。

荒木さんは出産後も選手を続けてこられました

日本ではわざわざ「ママ・アスリート」という言葉があるように、女性アスリートが出産して選手を続ける例は少ないです。でも、海外では、出産しても選手を続けるのが普通の光景。私も海外経験をおして、私の人生とバレーボールとの関わりのイメージが変わりました。

私がいたイタリアのチームでは、バレーボールへの取り組み方や監督との接し方、プライ

ベートの過ごし方や家族との距離など、日本では考えられない経験をしました。たとえば、パートナーや恋人が普通に練習を見に来て練習後にハグしたり、バレーが中心だった日本でのやり方とはかなり違い、私自身の価値観が大きく変わりました。そのため、出産して選手を続けることは、私と夫のなかでは当然のことでした。私の選択を後押ししてくれた夫の存在も大きかったですね。

出産後、復帰してからの大変さについて

1 月に出産して 5 月にチームに戻りましたが、ゼロどころかマイナスからのスタートでした。ジャンプ力も 10 センチ弱下がり、それまでなかった腰痛にも悩まされました。でも、出産を決めた時、復帰したら「完全に新しい自分になる」と思っていたので、ジャンプがだめならフェイントやブロックアウトな

どの新しい技を身につけようと考え方を変えました。以前の自分と比べることをしなかったのでもやって来れたと思います。実際の子育てはすべて母に頼りきりで、娘にはママを奪うバレーボールが嫌いと言われていました。

引退後のこれからについて

現在は、トヨタ車体クインシーズのチームコーディネーターとして、チームの強化と PR などに関わっています。私は 37 歳まで現役でしたが日本では途中でやめてしまう女子アスリートが多いので、出産後もプレーできることが当たり前を選択肢になってほしいし、その人に合ったフォローやサポートがあるとうれしいです。また、男子と比べて女子スポーツ全体の環境面での格差もあるので、経済的基盤も強くなってほしいです。そうしたことに貢献できたらと思います。



With コロナへ 不安を笑顔に変えて

コロナ禍の課題と気づき、地域での取り組み

新型コロナウイルスの感染が拡大して3年目。私たちの生活様式は大きく変化しました。コロナ禍で、私たちの働き方や生活にどのような課題が見えてきたか、さらに、それによって気づいたことについて、男女共同参画センター MIW をご利用の皆様にごアンケートをお願いしました。アンケートの結果とともに、地域の課題解決につながる活動をしている方々の取り組みについてもご紹介します。

◆ アンケートから ◆ コロナ禍の課題と気づきについて

男女共同参画センターMIWでは、昨年（令和3年）11月、コロナ禍での課題や気づきについて利用者に伺いました。^{*} 30名の回答には「社会での経済的格差の増大」「感染対策のための対面制限によるコミュニケーションへの影響」「考え方の違いでの人間関係の分断」「孤立・孤独感、不安の増大」「家事・育児の負担増」「公共の場での制限と個人の自由」等がありました。

コロナワクチン接種や感染対策についての考え方の違いによる分断やコミュニケーションの課題については、男女共同参画社会を目指す「互いの違いを認め尊重し合うことが大切ではないか」とのご意見もありました。

また、課題の指摘だけでなく、「新たなものの見方の気づき」や「オンラインを活用した働き方やコミュニケーション」等、新たな可能性も書かれました。

回答を「家庭」「職場・学校」「地域」に分け、それぞれで特有に見られる内容をまとめました。

家庭で



自宅で仕事できて子どもに働いている姿を見せられた。

家族との時間が増え、言い争いやストレスが高まった。

通勤時間が減り、家族との団らんや子どもとキッチンに立つ回数が増え、丁寧な料理をするようになった。

在宅ワークでも性別役割分業が続き、女性に家事や育児の負担が集中した。

在宅ワークで夫が家に居ることで家事や育児の時間ができ、妻の負担が軽減した。子どもたちも喜んでた。

運動不足による肥満。外出を控え通院や検査をできなかったが、自分の興味・関心があることに集中できるなど、家での時間が充実した。

女性の負担が多くなる中、男性の家事教室や低廉な費用で利用できる家事サポート、子育て世帯に引換券を支給するなどの仕組み作りがあるといいと思った。

職場・学校で



大学に通えず孤独と不安を感じたが、オンラインでの授業など多様な方式があるのもわかった。

同じ会社でも正規社員はリモート、非正規社員は対面を強いられ、仕事のやり方、コミュニケーションのとり方が難しい。

コロナ禍で通常業務に加えて他の業務が増加、方針の判断／決定、増えた仕事の分担があいまいで、職場でのストレスが増えた。

職場での不平等やストレスを可視化してコミュニケーションをよくする。会議や通勤等、当たり前になっていた慣習を見直してもいいと思った。

オンラインイベントやアーカイブ配信は、時間に縛られず参加でき、子どもがいて自分の時間をなかなか確保できないワーキングママにとってありがたい変化。

在宅ワーク、フレックス勤務、オンライン会議など、新しいスタイルを獲得でき、働き方改革が進んだ。

地域で



会食やワクチン接種等の考え方の違いから親しく付き合っていた友人と距離ができ難しさを感じる。

経済的困窮に陥る人や商店が増加。困難を抱えた女性・子どもなど、社会的弱者により強く影響が出ている。

老後の生活や地域での暮らしにオンラインコミュニケーションが役立つと気づいた。

孤立しないでいられる居場所をいかに地域に持つかが大事。例えば子ども食堂といったモデルになるような事例の情報を知りたいと思う。

社会で「生理的貧困」が話題になり、経済的な格差や生理用品を使う人だけに経済的負担が生じているのを改めて感じた。

ボランティア活動や町会行事が中止となり、交流の場としての機能を失った。

隣人・知人と対面でのコミュニケーションがとれず、孤独感を味わった。

異なる考えや状況にいることを前提として、互いの主張を認め合えるようなもっと寛容な社会がいいと思う人が増えるといいと思う。

◆ 地域での取り組み ◆

地域のお店を応援したい

「お世話になったお店をお客さんでいっぱいになりたい」—コロナ禍で苦境に立たされた区内富士見地区の身近なお店を、クラウドファンディング*で応援した地元のママ友たちの活動についてメンバーの坂口安紀さん、平岡恵子さん、戸田恭子さんに伺いました。



クラウドファンディングマスコット「ぼんちゃん」(左)と支援してくれた方へのプレゼントのオリジナルトートバッグ。

初めてのクラウドファンディング

富士見地区店舗を支援する クラウドファンディングプロジェクトの会

「コロナ禍でお世話になって
いるお店が大変だね。何か
できない?」。きっかけは、マ
マ友のLINEでした。すぐ
さま「クラウドファンディン
グ(以下CF)で応援するのはど
う?」との提案にママ友8人が
賛同。2週間後にはCFのサ
イトに申請していました。

応援したのは富士見小学校
の課外授業でお世話になった
沖縄料理の「島」富士見のサー
クル活動でお世話になった韓
国料理の「ソウルソウル」、仲
間も家族でよく行く中華料理
の「楼蘭」の3店舗でした。

CF^(注)を進める上でトレ
ドマークやロゴが欲しいとな

り、「いつもは内に籠ってるけ
れど、何かあれば一歩踏み出
して行動を起こす」メンバー
8人のような、鍋から足を出
している「ぼんちゃん」(写真
上)をマスコットキャラクター
にしました。「ぼんちゃん」バ
ッ
チやキーホルダーは子どもにも
大人気でした。デザイナーの
助けも借りてロゴも製作。ブ
ログやインスタグラムをママに
更新し、チラシも地域に配布。
様々な形でアピールしました。
千代田区のHPや掲示板、新
聞にも活動が紹介されました。
最終的に寄付金は目標の2倍
に達し、募集期間終了後に3
店舗に手渡しました。

実はメンバーは皆、CF設
立は未経験。でも、「まずはやっ
てみよう」「面白がる」「おせっ
かい」の気持ちで、互いの知
恵やスキルを出し合い取り組
んだのです。

応援したお店「ソウルソウ
ル」からは「最初は不安だっ
たけど、近隣の人たちがこれ
ほど応援してくれるのだと
驚き、感謝している」との感
想がありました。メンバーは
CFを通して「社会の問題を
生活のなかで自分事として考
える。その『種』(きっかけ)を
見つけ、一歩動いてみると走
り出せることがわかった」と
楽しそうに話してくれました。

*インターネットを通じてプロジェクトを公開し、不特定多数の支援者(群衆: crowd)から資金調達(funding)をする手法。

(注1)実施したCFは寄付のみの「応援コース」と支援金額と同額の食事ができる「お食事コース」の2つ。



CFのメンバーの皆さん: 子ども同士が同級生のママ友。皆仕事があるため、活動時間は仕事外の隙間時間。母親たちの熱心な活動の様子に、子どもたちに変化があった家庭も。



CFのポスターやチラシを配る「キャラバン隊」。ご近所さんに応援の声かけをもらいました。



支援店舗の半調理セットを自宅で調理してブログにアップ。子どもたちの「おいしい、楽しい」の声も載せて。

上智大生 800 人に聞きました！



- ◆授業前で時間がなくてトイレトペーパーを敷いてしのいだ
- ◆周りの友達に持っていないか尋ねて回った
- ◆いつ来るか予想できない…！



Instagramにアンケート結果とともに、大学へ生理用品設置をアピールする動画を投稿。

生理用品の無償設置へ

コロナ禍で、これまで見えなかった課題が明らかになりました。その一つが、「生理の貧困」*です。生理用品を購入できない女性達の現状だけでなく、生理に対する社会への見方を問い直す動きが出てきています。上智大学でジェンダー問題の解決に向けて活動するGES (Gender Equality for Sophia) の稲井清香さん、石田温子さん、蛭間早希さんに伺いました。

アンケートとInstagramでアピール

上智大学学生団体 ^{ジェス}GES (Gender Equality for Sophia)

ジェンダー問題解決に向けて活動している上智大学学生団体GESの皆さんは、「生理の貧困」が話題になった時期、上智大生の現状と意識についてアンケート調査し、生理用品の無償設置を大学にアピールしてきました。

回答した女性の9割近くが「生理用品がなくて困った」経験があると答え、生理時の鎮痛剤等も含め、月に1000〜3000円程度出費していることもわかりました。

「困った経験があるとは思っていたけど、これほどとは」「学生にとって、毎月これだけの出費は痛手」「困っている状態があることが常態化されていたことが悲しい」と思ったと言います。

そこで、生理用品設置の重要性を訴えるべく、アンケート結果とともにInstagramに動画^(注2)を投稿したところ、再生回数45万以上、3300以上の「いいね」の反響がありました。

アンケートでは、トランスジェンダーの人が必要とする場合も考え、男性トイレに生理用品を置くことについても質問しました。「男性トイレを利用する学生のうち4割以上が置いた方がいいと回答し、学内に性的マイノリティ

への理解もあることにも感動した」とのことです。

『「生理の貧困」との言葉からは、経済的な理由で生理用品が買えないことが問題視されますが、虐待やネグレクトなども背景にあるし、社会全体の生理への無理解や知識不足等の問題もあると思います。生理用品を無償設置して終わりではなく、これからもジェンダーについて気づきにくい問題について、アクティビに活動していきたい」とメンバーは話しています。

区立の小・中学校の女子トイレに生理用品

千代田区では、生理用品もトイレトペーパーと同じように日常的に誰でも使えるようにと考え、令和3年9月から区内の11の小・中・中等教育学校のトイレに、区内企業からも協力頂き、生理用品を設置しています。これまでも保健室に行けばもらえましたが、「急な時に使えて助かる」と、これまでの25倍も使われる学校もあるとのこと。都立高校でも令和3年9月から生理用品を無償で設置しています。



千代田小学校での生理用品の設置の様子

*経済的な理由で生理用品を購入できない女性や女の子がいるという状況。全米各地では「生理の平等化」を目指すデモ行進が行われ、2020年11月スコットランドでは、生理用ナプキン・タンポンなどを「無償提供」する法案が世界で初めて可決。日本でも学校や公共施設のトイレに「生理用品」の設置が広がっています。

(注2) 同大学の学生団体「Prism」の古川結衣さんが撮影・編集に協力

子どもや地域の人たちの居場所を作る

コロナ禍で、学童クラブや遊び場、公共施設の利用が制限された時期もあり、子どもも大人もコミュニケーションがとりにくくなっています。そこで今、子どもたちに食事が提供され、安心していただける「子ども食堂」や多世代の交流の場が注目されています。千代田区内でシングルマザーや子どもたちをサポートする子ども食堂と社会福祉協議会のアキバ分室の活動をご紹介します。

子ども食堂

石黒商店 / ワイルドピッチ / 麺屋のろし

◆石黒商店こども食堂
シングルマザーのサポートをしたい
神保町の駅から徒歩2分のラーメン店「石黒商店」では、2021年2月から子ども食堂をしています。子どもは毎日100円でラーメンが食べられ、金曜日には無料でお弁当の配布（予約制）があります。

「私自身がひとり親家庭で育ち、シングルマザーも経験したので大変さがわかる。一人で食事する子どもや仕事を掛け持ちして頑張っているお母さんに、食事と息抜きできる場を提供したかった。おいしかったと言われるとうれしい」と、店長の

石黒友子さんは話します。
現在10世帯ほどが利用しています。友子さんはツイッターでシングルマザーからの相談も受けることもあるとか。店内には募金箱もあり、常連のお客さんや企業からの応援が背中を押してくれています。

◆子ども食堂ワイルドピッチ
今、自分にできることをしたい
飯田橋のスポーツバー「ワイルドピッチ」では、学校閉鎖で給食がなくなった2020年3月、子ども食堂を始めました。「コロナ禍で音楽活動も店の営業もできなくなった時、今、自分ができることは何かを考え、

子どもたちにおいしいご飯と楽しい時間を提供する場を作った」とミュージシャンで店主のニッキー松本さんは話します。
現在は、毎週日曜日の昼間、中学生以下の子どものためにランチを無料で提供しています。「利用する子どもたちはシャイであまり話さないけれど、店内のモニターで好きなアニメを見て話しかけてくることも」（松本さん）。

JAや「むすびえ」、個人や企業からの支援、高校生や近所の人たちのボランティアの協力で支えられているとのこと。

◆麺屋のろし子ども食堂
継続できる子ども食堂の仕組みを作った！
東京で唯一函館味噌ラーメンが食べられる店「麺屋のろし」は、営業時間中、小学校6年生までラーメンを無料で提供



〈石黒商店 こども食堂 神保町〉



石黒友子さん。目印の看板のカニは蟹味噌ラーメンのお店であることから。ラーメンは月100食以上。毎週金曜日に作るお弁当は30食程（写真左 / 無料）。

〈子ども食堂 ワイルドピッチ 飯田橋〉



おにぎりを握るニッキー松本さん。子ども食堂だけでなく、震災被害者やホームレス支援も継続しています。



子ども食堂の看板。子どもは無料、大人も200円。

◆石黒商店こども食堂 神田神保町 2-24 ☎ 6272-3977 ◆子ども食堂ワイルドピッチ 飯田橋 4-2-6 アヴァンセ 飯田橋 4階 ☎ 6268-9272 ◆麺屋のろし子ども食堂 神田和泉町 2-8 ☎ 5829-4822
*全国の子ども食堂を支える NPO 全国子ども食堂支援センター



特集「With コロナへ 不安を笑顔に変えて」 を通しての気づき

コロナ禍の課題と気づきについての利用者からのご意見は、自分の生活・仕事の変化から社会の課題にまで多岐にわたりました。「意見の違いが分断にならないよう互いを尊重する社会を」との意見に、改めて、違いや個性を尊重する男女共同参画社会が求められていると感じます。また、ママ友たちのクラウドファンディングでの店舗の支援や区内商店の子ども食堂など、課題を感じた人たちが始めた等身大の活動は、確実に地域を支え、共に生きやすい社会につながっていると思いました。

しています。創業者が自分が育った時代と現在の子どもの貧困問題を重ね合わせ、「子どもたちにお腹いっぱい食べてほしい」との思いで2017年9月からスタート。

現在、毎月の利用者は1000〜2000人。コロナ前は4000人が利用していたそうです。ここを利用した子が成長して店員になって働くなど、つながりが続いています。

麺屋のろしの特徴は、子ども食堂を継続する仕組みを作ったこと。個人の善意だけではなく、社会貢献したい企業から協賛金を集め、HPに企業を紹介。子ども達がいっても安心安全に食事を楽しめる居場所になることを目指しています。

〈麺屋のろし子ども食堂 和泉町〉



子どもたちとお店の調理場でラーメン作りの職場体験。作ったラーメンを親に食べてもらえて「うれしかった!」



担当者の池田竜さん。麺屋のろしは千代田区と「子育て応援見守り隊に関する協定」を結んでいます。

千代田区社会福祉協議会 アキバ分室

毎日行きたくなる、誰かと会える場 ～多世代の居場所～

秋葉原駅から徒歩近くにある千代田区社会福祉協議会(社協)のアキバ分室は、2021年4月、コロナ禍で地域のコミュニケーションが途絶えた時期に開設しました。最初の頃こそ利用者は少なかったものの、今では、社協のスタッフの働きかけもあり、地域福祉のプラットフォームとして多世代が集まる楽しい場になっています。

「アキバみんなのサロン」では、囲碁やボードゲーム、手芸等が楽しめ、今年1月には百人一首かるた会もありました。「アキバ子育て広場」では、子育て中の親子の

皆さんがプログラムに参加したり、おしゃべりをしたりと、思い思いにのんびり過ごしています。

毎日行きたくなる、誰かに会える場―「コロナ禍でもここに来れば誰かと話せてありがたかった」と話してくださった利用者の方もいるとのこと。

開設からもうすぐ1年。「アキバ分室」は、地域の住民、学生、企業、団体、NPOなど、多様な人々が、それぞれができること、好きなことで気軽に参加し、ゆるやかにつながる場になっています。



囲碁サロンで、小学2年生とシニア利用者が楽しみなが真剣勝負。



区内企業から寄付された毛糸で編み物。「編み方を忘れてしまった」と言う利用者と一緒に、編み物ボランティアの皆さんが作品を創っていきました。



夏休みのイベント「アキバでアロハ2days」の様子。地元の航空会社の協力でレイ作りやフラダンス鑑賞、クイズ大会を楽しみました。

ジェンダー平等推進行動計画ができました！

千代田区は、令和4年3月、「第6次千代田区ジェンダー平等推進行動計画」を策定しました。
本計画は、SDGs（持続可能な開発目標）の「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」の目標を踏まえ、
これまでの「男女平等推進行動計画」から「ジェンダー平等推進行動計画」に名称を変更しました。



施策体系

基本理念

性別による不平等がなく、だれもが自分で生き方を選ぶことができ、
その選択が認められて参画できる社会の実現

基本的な考え方



性別や性的指向、性自認にかかわらず、だれもが尊重される社会をめざす

多様なライフスタイルが実現できる社会をめざす

互いに認め合い、だれもが参画できる社会をめざす

目標

1

人権を尊重し、
健康的な生活を
支援する

- ①人権尊重・ジェンダー平等の意識づくり
- ②生涯を通じた心とからだの健康づくりの推進
- ③生活上の困難を抱える女性などへの支援
- ④LGBTsへの理解と人権尊重のための施策の推進

2

配偶者・児童等への
あらゆる暴力を
根絶する

- ①DV・デートDVの防止と被害者の支援
- ②児童・高齢者・障害者に対する虐待防止対策の推進
- ③ハラスメント・性暴力等の防止への取組の推進

3

ワーク・ライフ・
バランスの実現と女性の
活躍を支援する

- ①女性のキャリア形成・就労の支援
- ②男性の働き方の見直しの促進
- ③家事、育児、介護等と仕事の両立支援
- ④誰もが働きやすい環境づくりの推進

4

地域社会における
ジェンダー平等を
推進する

- ①政策・意思決定過程における女性の参画の拡大
- ②ジェンダー平等の視点からの災害対策

5

行動計画の
推進体制を充実
する

- ①男女共同参画センターM I Wの機能強化
- ②計画の推進体制の充実

新規・拡充事業

- 1-② 性や生殖に関する知識及び情報の普及・啓発 **拡充**
「生命（いのち）の安全教育」の推進のための教材等の活用 **新規**
- 1-③ 東京都若年被害女性等支援事業との連携による支援 **新規**
- 1-④ パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度の導入の検討 **新規**
LGBTsに関するハンドブックの充実 **拡充**
- 2-① 配偶者暴力相談支援センターの設置 **新規**

- 3-① 国・東京都の各種支援制度の活用促進 **新規**

- 4-① 審議会等における女性の参画に向けたポジティブ・アクションの推進 **拡充**
女性による意見交換の場の提供 **新規**
- 4-② 「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」に対応した避難所運営 **新規**



第6次計画においては、以下の視点を反映し、全ての施策を推進します。

- 1 SDGs（持続可能な開発目標）・ジェンダー平等の視点を反映する
- 2 ジェンダー平等が男性にとっても重要であると認識し、男女共に進めていく必要がある
- 3 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、顕在化した社会的に弱い立場にある人々への問題に対応する



第9回MIW祭りを 九段生涯学習館で 開催しました！

令和3年10月1日(金)～2日(土)

今年度初めて庁舎を飛び出して、九段生涯学習館で開催した第9回MIW祭り。参加団体のみなさんとしっかりコロナ対策をしながら、ステージ発表やブースイベント、初めての「男女共同参画川柳コンテスト」作品発表、毎年恒例のクイズラリーなどを実施。たくさんの方々にご参加いただきました。

テーマ

なんか変？“フツー”って何？

～それが未来を拓くカギ～

オープニング
イベント

正則学園高等学校花いけ男子部による 花いけライブパフォーマンス



男女共同参画 川柳コンテスト 授賞式



◆大賞作品
イクメンと呼ばないでくれ俺は「親」
イクウーメンさん

◆優秀賞
関係ない「働きやすさ」に男女の差
高木詩織さん

◆準優秀賞
いつだってあなたらしさを大切に
おもちゃん

◆みゅうじろう賞
女子？男子？関係ないよきみが好き！
ハシーさん



みゅうじろう賞のハシーさん

MIW 祭り
講演会

2021年のTOKYOから考える スポーツとジェンダー



講師：宮嶋泰子さん（スポーツ文化ジャーナリスト）

九段生涯学習館と
オンラインでの
ハイブリッド開催！



専修大学専修
神田ボランティア



ホームヘルパー
全国連絡会



登録団体、区内大学生に
よる体験型のブースや
動画発表もありました！

人権を考える会



MIW インフォメーション

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただく場合があります

MIW 講座

あなたと一緒に生きている 「トランスジェンダーの リアル」

日時：令和4年4月27日（水）
19:00～20:30

講師：遠藤まめたさん
（一般社団法人にじゅ代表）
河上りささん
（語り部 YouTuber）

講座形式：オンライン講座
（Zoom ウェビナー）

対象：申込順／在住・在勤・在
学者を優先

申込みは MIW まで



▲遠藤まめたさん



▲河上りささん

ビデオサロン

「ビッグ・アイズ」

絵画〈ビッグ・アイズ〉
シリーズの作者は、作家
として名乗っていたウォ
ルター・キーンではな
く、妻マーガレットだっ
た。60年代アメリカの実
話をドラマ化。

日時：令和4年4月15日（金）

① 14:30～② 18:30～

会場：MIW交流サロン（区役所 10 階）

定員：各回 15 名（申込順／在住・在勤・在学者を優先）
申込みは MIW まで



▲ジャケット

©Big Eyes SPV, LLC. ALL Rights Reserved.

MIW 相談室

予約専用電話 03-5211-4316

夫婦やパートナー、
家族との関係、人
間関係、子育て、
働き方、ハラスメン
ト、DV、性暴力、犯
罪被害、性自認・性
的指向に関するこ
と等、困っていることがあったら、一人で悩まずご相談
ください。予約制です。（在住、在勤、在学の方対象）



困っていることがあったら
一人で悩まずご相談ください

一般相談 月曜日・水曜日・木曜日・土曜日
10:30～15:30

火曜日・金曜日 16:30～20:30

法律相談 毎月第2火曜日 13:00～15:30（女性のみ）

LGBTs相談 毎月第2・4木曜日 16:30～19:30

MIWで活動する団体を募集しています

MIWは、男女共同参画（ワーク・ライフ・バランス、
子育てなど）をテーマに活動する団体・グループを
登録団体として、活動を支援しています。MIW ミー
ティングルームやグループロッカーの貸出や、男女
共同参画に関する研修等の情報提供をしています。

【登録要件】

- 活動目的：男女共同参画社会に資すること
- 代表者：区内在住・在勤・在学のいずれか
- 構成員：区内在住・在勤・在学を主な構成員と
した5人以上の団体
- その他：MIW 祭り、MIW 事業に参加すること

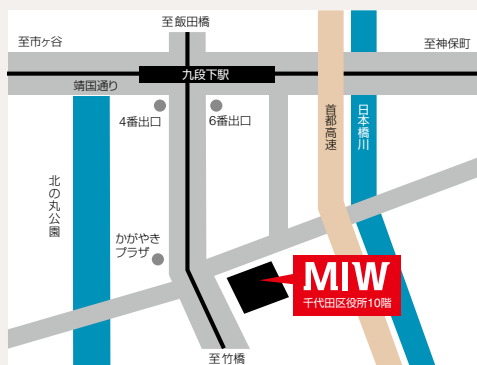


みなさまからの
MIW 通信への感想、
MIW へのご意見など
お待ちしております。

←メールはこちらから



千代田区男女共同参画センター MIW (ミュウ)



所在地 〒102-8688 東京都千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 10 階
交通機関 東京メトロ東西線、半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車、徒歩 5 分
開館時間 月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 9 時 土曜日 午前 9 時～午後 5 時
休館日 日曜日、祝日、年末年始
TEL 03-5211-8845 / 相談予約受付 03-5211-4316 FAX 03-5211-8846
Eメール miw@city.chiyoda.tokyo.jp Facebook @chiyoda.miw
URL https://www.city.chiyoda.lg.jp (「暮らし・手続き」▶「男女平等・人権」▶男女共同参画センター MIW
からお入りください)

編集後記

春になりました。春は、入学、就職とさまざまなスタートの時期にもなります。本号 10 ページでは、区の新しいジェンダー平等推進行動計画をお知らせしました。男女共同参画センター MIW でも行動計画に基づき、新しい取り組みをスタートします。今後の MIW の取り組みにぜひ注目してくださいね♪ (K)



← MIW 講座情
報等をお送り
します。
メールマガジ
ンの登録はこ
ちらへ